

CIS 2019 フォーラム

新時代を勝ち抜く農業と漁業

大学や地元企業が最新研究成果やシーズを紹介します



2019
9.28

[土曜日] 13:00より

◆会場：銚子プラザホテル
(銚子市西芝町11-2)
(TEL:0479-22-0070)

◆要事前申込：定員200名

◆参加費無料

主催 千葉科学大学

共催 銚子市 銚子商工会議所
岡山理科大学 倉敷芸術科学大学

後援 銚子市観光協会 銚子市漁業協同組合
ちばみどり農業協同組合
銚子信用金庫 銚子商工信用組合

プログラム

12:30 受付

13:00 開会挨拶

13:10 基調講演 **21世紀の陸上と海洋生態系のかかわりと海洋水産資源**
一般社団法人生態系総合研究所 代表理事
東京財団政策研究所 上席研究員 小松 正之 氏

14:40 休憩

14:50 成果発表 **「フィッシュ・ファクトリー」システムの開発及び「大学発ブランド水産種」の生産**
食中毒菌の増殖に対するサメ肌抗菌シートの効果の検証
薬学部 教授 照井 祐介
好適環境水を用いた生産技術開発 危機管理学部 准教授 小濱 剛

15:25 **農業と漁業のコラボレーション ～キャベツでウニは育つ?～** 危機管理学部 准教授 小濱 剛

15:40 **イノシシによる農作物被害の軽減・防除への挑戦!!** 危機管理学部 講師 澁谷 未央

15:55 **銚子青魚のブランド戦略** 危機管理学部 教授 八角 憲男

16:15 **パネルディスカッション 洋上風力発電と新しい漁業** モデレーター 学長 木曾 功

16:40 ポスターセッション

17:30 閉会挨拶



お問合せ
申込先

学校法人 加計学園 千葉科学大学 企画室 産官学連携推進課

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町3番 TEL:0479-30-4581 FAX:0479-30-4518 E-mail:renkel@ml.cis.ac.jp



CISフォーラム2019 ポスター発表 テーマ一覧

所属・学部等	発表者氏名	テーマ
千葉科学大学 薬学部	岩崎 倅 千 坂本 明 彦 柏木 敬 子	体内時計に果たすポリアミンの役割
千葉科学大学 薬学部	鄭 昇 姫 今井 信 行	肝毒性抑制効果が期待できる α -アミノ酸または脂肪酸を部分構造に有するアセトアミノフェン類縁体の簡便合成
千葉科学大学 薬学部	三 森 盛 亮	神経変性疾患治療薬を目指した新規ケミカルシャペロンとしてのIPAの作用
千葉科学大学 薬学研究科薬学専攻	山田 友 美 高橋 真 樹 森 雅 博	高機能患者シミュレーターを用いた、バイタルサインを活かした学生主体の症例研究について
千葉科学大学 薬学部	高 橋 正 人	作用持続化を目指した抗精神病薬のプロドラッグ化研究
千葉科学大学 薬学部	高 荷 大 輔 高橋 正 人 細川 清 正	ヒトカルボキシエステラーゼ1のキラル認識能の解明
千葉科学大学 薬学部	柳 澤 泰 任 小笠原 瑠 美 足立 須 達 美 須見 洋 行	キャベツ発酵による血栓溶解酵素ナットウキナーゼ生産の検討
千葉科学大学 薬学部	岡 本 能 弘	葉酸摂取量の調節による免疫機能制御方法の開発
千葉科学大学 危機管理学部	陳 嘉 希 木村 栄 宏	「リーダーの危機意識と企業経営との関連性」
千葉科学大学 危機管理学部	浅野 太 智 澁谷 未 央 銚子海洋研究所	房総半島周辺海域における鯨類の季節別出現状況および海洋環境条件との関係性
千葉科学大学 危機管理学部	澁谷 未 央 小林 万 里 和田 智 竹	ゴマファザラシ(<i>Phoca largha</i>)の上陸行動と環境要因との関係
千葉科学大学 危機管理学部	坂 堀 芳 樹 本 政 夫	免疫抑制剤アザチオプリンのラットを用いた発生毒性に関する研究
千葉科学大学 危機管理学部	海 老 根 雅 人	ラオス国における臨床工学技士の必要性に関する実証研究
千葉科学大学 危機管理学部	植 田 成	国内臨床検査における酵素活性測定のための標準化の現状について

所属・学部等	発表者氏名	テーマ
千葉科学大学 危機管理学部	黒 木 尚 長 救急救命学コース学生	ホノルルEMS実習報告
千葉科学大学 危機管理学部	小 堀 航 輝 瀬沼 莉 花 戸田 和 之	銚子マリーナ地域における津波に対する避難行動シミュレーション - 避難車両の影響 -
千葉科学大学 危機管理学部	奈 良 侑 画 伊藤 伶 音 戸田 和 之	内シャント法における動脈吻合部周りの拍動流シミュレーション
千葉科学大学 危機管理学部	船 倉 武 夫 高橋 道 恵 銚子市国際交流協会	日本語で地域とつながる国際交流における日本語教育とそのボランティアの役割
千葉科学大学 看護学部	千葉科学大学 看護学部 看護実践連携研究会 委員会	看護実践連携研究会活動報告 - 2018年度~2019年度 -
千葉科学大学 看護学部	青 木 君 恵 澁 佐 徳 紀 城戸 親 史	看護学部におけるBLSプロバイダー資格取得コース開催状況と課題~3年間を振り返って~
千葉科学大学 看護学部	富 樫 千 秋 安藤 智 子	3学部合同で開催している「看護の日」実践報告
千葉科学大学 看護学部	安 藤 智 子 鈴木 久 美	3年目を迎えた「まちの保健室」の報告
千葉科学大学 看護学部	梶 原 睦 子 梅田 君 枝 中村 幸 代	C市内の医療・介護・福祉施設におけるスキンケアの実態
岡山理科大学 理学部 化学科	岩 永 哲 夫	有機太陽電池材料を指向した含ヘテロパイ電子系色素の開発
有限会社 ウエルネスサービス	多 辺 田 貴 大 太田 恭 平	これまでの通所介護と、これからの通所介護のあり方
株式会社 海辺里	渡 邊 義 美	塩タレの秘密!鮮度保持・アニサキス対策にカキ殻の活用と素焼き甕による発酵・熟成
坂本飼料 株式会社	坂 本 浩 志	日本の養殖漁業(産業)の将来性と可能性

特別展示と解説	危機管理学部教員 薬学部教員	『フィッシュ・ファクトリーシステム』の開発及び『大学発ブランド水産種』の生産
---------	-------------------	--

会場ご案内図およびアクセス

- JR 特急しおさい号(総武本線)
東京ー銚子 約1時間50分
- 高速バス
東京(八重洲口前)ー銚子(銚子駅)
約2時間30分

※駐車場に限りがありますので出来るだけ公共交通機関をご利用ください。お車でお越しの際は、右図のP有料駐車場をご利用ください。

